

令和５年度 第５回佐治地域振興会議 議事概要

日時：令和５年１１月１６日（木）午後１０時３０分～

場所：神河町役場 センター長谷

村営ふれあいマーケット長谷店

〔出席委員〕 ９名

小谷繁喜、田中早雄、岸田みち代、谷口輝男、下石聡子、無替幸夫、田中精夫、中家孝、小林憲二

〔欠席委員〕 ３名

西尾寛茂、井上茜、阿久津奈穂子

〔事務局〕 ３名

下田支所長、下石副支所長兼地域振興課長、倉持地域振興課課長補佐

〔日程〕

- １．開会
- ２．あいさつ
- ３．視察
 - （１）神河町の紹介 【神河町ひと・まち・みらい課 石橋課長】
 - （２）長谷地区の住民による「まちづくり・地域活性化」に向けた取り組み
【長谷地区の振興を考える会会長・（株）長谷 代表取締役社長 立垣 昇氏】
 - （３）ＥＶカーシェアリング【神河町ひと・まち・みらい課 浦上主事】
 - （４）現地視察
- ４．視察終了
- ５．協議事項（佐治町総合支所へ帰着後）
 - （１）寄附金の使途について
- ６．閉会

〔議事概要〕

- ３．視察
 - （１）神河町の紹介 【神河町ひと・まち・みらい課 石橋課長】
 - （２）長谷地区の住民による「まちづくり・地域活性化」に向けた取り組み
【長谷地区の振興を考える会会長・（株）長谷 代表取締役社長 立垣 昇氏】
 - ・長谷地区は９集落、約３００世帯、高齢化率４８．６％
 - ・役員は２年任期。担い手が減少している。

- ・関西電力から長谷地区へ振興協力金が出ている。
- ・1世帯1万円、合計316万円を出資して(株)長谷を設立。(実際には振興協力金から出している)
- ・その後、1世帯当たり2万円増資し、941万円の資本金とした。
- ・(株)長谷の賃金は兵庫県の最低賃金(1,001円)で対応。
- ・マーケットとGSの店長は固定給、社保は店長のみ。
- ・GSは2名、マーケット長谷店・川上店は6名、センター長谷1名(町から派遣の集落支援員)
- ・平成27年度から集落支援員1名を神河町から派遣。(交付税対象 年間350万円)
- ・マーケットの累積赤字は約3000万円、振興協力金で補填してきたが、協力金もいつまでも出るわけではない。店舗利用者も減少傾向。
- ・公共施設の管理業務を受託し、収入源としている。(センター長谷の証明書発行等の業務、駐車場の管理、公園の草刈り等)
- ・マーケットは電源立地交付金でトイレ等を増設。
- ・年2回生活必需品の注文販売、クリスマス、節分等の時期は地元の会社からも注文を取っている。
- ・年1回ふれあい喫茶、ワンコインレストランを開催、120人から150人が参加。最近はコロナ過で開催出来なかった。また、準備は集落の持ち回りで行ってきたが、集落によってはスタッフが揃わなくなっているため、各集落から手伝いに出るなど対応。
- ・長谷駅は利用客の減少により通過する車両が多くなっていたが、JRへ働きかけ停車してもらえるようになった。毎月、利用運動を行っている。

(3) EVカーシェアリング【神河町ひと・まち・みらい課 浦上主事】。

- ・令和5年7月から寺前駅前(観光センター隣)に日産リーフ、村営ふれあいマーケット長谷店に日産サクラを配備して運用。
- ・リーフ 月額124,300円
- ・サクラ 月額102,300円
- ・リーフは公用車としての利用がメイン。サクラは公用車利用は少なく観光メイン。
- ・利用者のメリット・・・充電料金はかからない。レンタカーより安価。
- ・公用以外の利用は、ほぼ町外者。観光、宿泊先への移動等
- ・利用はまだ少ない。PR不足と、事前登録が必要なので高齢者にはハードルが高いと思われる。
- ・県補助金1/2、播但線利用促進補助事業

(2) 現地視察

村営ふれあいマーケット長谷店、ガソリンスタンド

EVカーシェアリング(隣接する駐車場に、日産サクラを配備)

以上、午後2時視察終了。

5. 協議事項（佐治町総合支所へ帰着後）午後4時開始

（1）寄附金の使途について

【事務局】八芳園、長谷氏からの寄附金の使途について、事前にとったアンケートをまとめた資料を説明。

【委員】基金を作ってはどうか。

【事務局】基金を作るのは、条例の制定等必要となりハードルが高くなります。

【委員】ハード的なものよりソフト的なものに使用できないか。災害に強い地域づくりのためのソフト事業が出来ればよいと思う。

【委員】今回の議題は1月中に成案して意見書を出したい。次回までに意見書案を作成して協議したい。

以上、午後5時協議事項終了。